

美木中だより 7月号

学校教育目標

郷土に誇りを持ち、知・徳・体を磨き続け、グローバル社会を生き抜く生徒の育成 ~「創」美しい木々が健やかに育つ学校~

平成29年7月6日
発行
尾道市立美木中学校

大人が熱く燃えた1日

6月25日（日）尾道市長平谷祐宏様をはじめ、多数のご来賓のご臨席の中、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、「第42回美木・原田ブロック小・中学校PTA競技大会」が、本校アリーナで行われました。

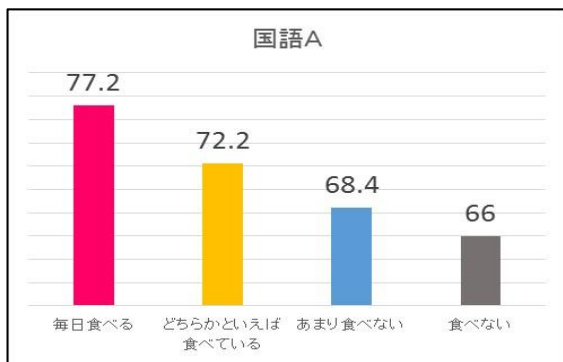
小学校の統合により、3校での新しい実施方法による初めての大会となりました。各校男女2チームずつのチーム編成で、男女それぞれが3チームずつによる予選リーグを行い、5位、3位、1位決定戦を行いました。

美木中学校は、男女4チームが練習の成果を発揮し、優勝目指して懸命にプレーしました。結果は、男子Aチームが3位、Bチームが4位、女子Aチームが4位、Bチームが2位でした。大変蒸し暑いアリーナの中で、熱い戦いを繰り広げてくださった選手の皆さん、大変ご苦勞様でした。また、大会の企画から前日準備、当日の運営まで、何日もお世話いただいた育友会体育部の皆さん、本当にありがとうございました。

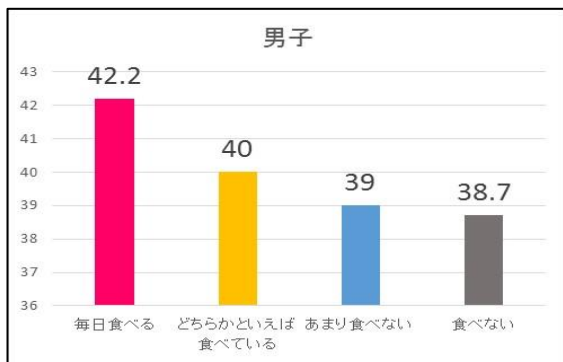
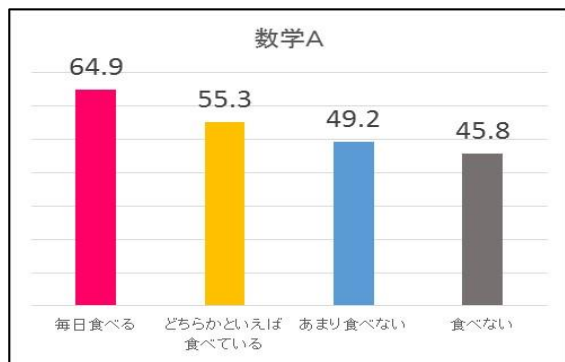


右上のデータからわかることは？

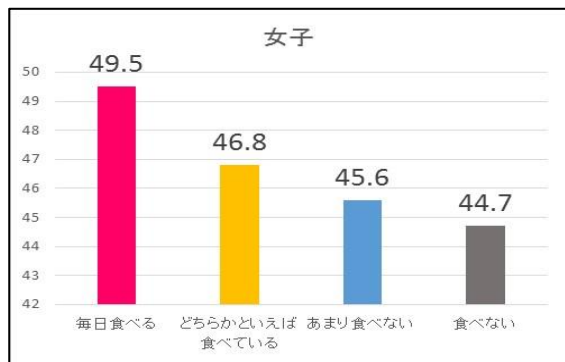
7月3日（月）、尾道市栗原北学校給食共同調理場の栄養主幹である宮本ひさ子様を講師にお招きして「食育」の授業を実施しました。紙面右上にあるデータは、その時に宮本さんが生徒に提示されたものの一部です。保護者の皆さんは、これらのデータをご覧になったことがあるのではないのでしょうか？



朝食の摂取状況と学力
調査の平均正答率



朝食の摂取状況と体力
テスト平均得点



どちらも「朝食の大切さ」を物語る大変説得力のある資料です。3学年の教員に聞いたところ、朝ごはんを食べないで登校する生徒が、学級に2～3名いるとのこと。学力、体力に直結する大切な朝ごはん。「食べて行きなさい」と、ご家庭でも指導してくださっていると思いますが、今後も「主食」「主菜」「副菜」等、バランスの取れた食事の提供をお願いいたします。

「家族ふれあいデー」アンケート集計より

尾道市では、年間2回の「家族ふれあいデー」を実施していますが、6月18日（日）が今年の第1回目でした。週明けの19日（月）にアンケートを行い、本校の実施状況を集計してみました。今回は、1年生47%、2年生29%、3年生25%、全体で約33%の実施率でした。昨年度1回目の41%から大きく減少したのは残念でしたが、3人に1人は何らかの形で、実施していました。

この取組は、たまにはテレビ、パソコン、スマートホン等のメディアから離れ、家族での団らんの機会を作ろうというものです。「特にこの取組に参加しなくても、いつも家族とよく会話をしている。」という答えをアンケートに書いていた人がいました。そのような人ばかりなら良いのですが、「やってみると家族で夕食の時、たくさん話ができた。」とアンケートに答えていた人が結構いましたので、良いきっかけになる取組だと感じました。2回目は、12月に実施されます。今回「次の時はやってみます。」とアンケートに書いていた皆さん、ぜひチャレンジしてください。

” 美木中生のちょっといい話 ”

先日、掃除終了後、2年生の女子生徒が1人で職員室の配布戸棚（各学級への配布物が入っている棚）から、配布物を大量に抱えて運ぼうとしていました。すると、その様子を見た3年生の女子生徒が「手伝ってあげよう」と声をかけました。2年生の生徒は遠慮したのか「大丈夫です」と言いましたが、3年生の生徒は「いいよ」という感じで、荷物を持ってあげていました。その様子は、力みもなく、とても自然なものでした。「大変そうだな」と気づくこと、「手伝おうか？」と声をかけること、簡単そうでなかなかできないことではないでしょうか？とってもさわやかな気持ちになりました。

